

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	3	14	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	0	0	ヘルパンギーナ	241	160
咽頭結膜熱	22	19	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	108	61
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	55	62	急性出血性結膜炎	0	1
感染性胃腸炎	249	301	流行性角結膜炎 (はやり目)	10	13
水痘	140	89	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	1268	631	無菌性髄膜炎	2	1
伝染性紅斑 (りんご病)	65	30	マイコプラズマ肺炎	1	4
突発性発しん	52	46	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い
感染症

手足口病
感染性胃腸炎
ヘルパンギーナ

- 手足口病は、報告数1268件(前週報告数631件)と倍増。
地区別では、菊池、人吉、熊本に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の466件を最多に、主に10～14歳以下からの報告である。
- 感染性胃腸炎は、報告数249件(前週報告数301件)と減少。
地区別では、山鹿、菊池、人吉に多く報告がみられる。
年齢別では、10～14歳の43件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- ヘルパンギーナは、報告数241件(前週報告数160件)と増加。
地区別では、水俣、宇城、八代に報告が多くみられる。
年齢別では、1歳の85件を最多に、10～14歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺炎
熊本市保健所			13	30	76	55	604	2	24		74	37		10		2		
山鹿保健所					34	4	16	1	1		3	5	*	*				
菊池保健所			1	8	31	22	212	3	13		25	18						
阿蘇保健所				1	6	1	1						*	*				
御船保健所					8	5	5					1	*	*				
八代保健所			1	7	15	2	59		4		34	6						
水俣保健所			1		2	2	23		1		22	1	*	*				
人吉保健所				2	22	17	147		3		15	7	*	*				
有明保健所			1	2	21	23	92	58	4		24	12						1
宇城保健所			3	1	17	9	73	1			27	15						
天草保健所	3		2	4	17		36		2		17	6						
計	3	0	22	55	249	140	1268	65	52	0	241	108	0	10	0	2	1	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
インフルエンザ	3			1			1						1								
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	0																				
咽頭結膜熱	22		4	7	2	4	2	2		1											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55		1	1	2	3	7	17	13	4	6		1								
感染性胃腸炎	249	6	23	17	18	13	23	18	20	11	12	13	43	5	27						
水痘	140	7	15	25	28	24	16	16	7	1	1										
手足口病	1268	13	136	466	279	174	96	50	19	12	7	5	6		5						
伝染性紅斑	65		6	15	17	10	7	3	5	1			1								
突発性発しん	52	5	27	17	3																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	241	1	33	85	46	38	13	14	5	4	1		1								
流行性耳下腺炎	108	1		13	15	15	17	12	12	9	5	2	6		1						
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	10					1	1							1			2	1	1	3	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	2			2																	
マイコプラズマ肺炎	1		1																		
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 感染性胃腸炎：山鹿
- 水痘：人吉
- 手足口病：熊本・山鹿・菊池・八代・水俣・人吉・有明・宇城・天草
- 伝染性紅斑：有明
- ヘルパンギーナ：菊池、八代、水俣、宇城、天草
- 流行性耳下腺炎：山鹿

◆手足口病



今週も先週の2倍以上の報告があり、全国的に報告数が増えています。県内で警戒レベルを超える地域は、9地域(阿蘇、御船以外)に増えました。特に報告が多い地域は菊池、人吉、熊本となっています。年齢別では、3歳以下の乳幼児が全体の8割を占めています。保育所など乳幼児の集団生活の場では特に注意が必要です。手足口病は、手のひら、足のうら、口の中などに小さな水疱のような発疹ができるのが特徴です。大部分は発疹と軽度の発熱などの軽い症状で経過しますが、まれに髄膜炎など重症化する場合があります。頭痛・嘔吐を伴う、高熱を伴う発熱が2日以上続く、などの場合は早めに医療機関を受診してください。手足口病は、患者のくしゃみなどからのしぶき、水疱の中身、患者の便にウイルスが存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排泄されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。手洗いは流水と石けんで十分に行い、タオルの共用はしないようにしましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課